

養護・教育 ●2021年 3月 31日現在 園長:鍋島恵美 ・在園児数: 50名

【基本情報】

開園日	2019年4月1日
対象	1歳児～就学前
保育標準時間	7:00～18:00
保育短時間	8:30～16:30
時間外保育時間	18:00～18:30(平日のみ)
定員	60名
給食	完全給食、アレルギー食対応(医師の指示に基づき除去食実施)
制服	なし

【保育園での1日の流れ】

7:00	開園 順次登園
9:00	体操 朝の会 室内遊び
10:00	園庭遊びや散歩 畑や瓜生山、近郊の公園等で遊ぶ
11:10～12:30	昼食 ※乳児と幼児で時間は異なります
12:45～15:00	午睡
15:00～	おやつ、振り返りの時間
16:00～18:00	園庭遊びや散歩 夕方の遊び 順次降園
18:00～18:30	時間外保育(延長保育)

【在園数の推移】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	10
2歳児	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
4歳児	14	13	13	13	12	11	11	11	11	11	11	12
5歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合計	54	53	54	54	53	52	52	52	53	53	53	54

【Withコロナ禍の保育の創造へ挑戦】

- ・コロナ感染者の発出に伴い臨時休園となる事態が発生
- ・消毒や換気の徹底、幼児クラスはマスク着用の協力依頼を求め感染拡大を最小限に抑える努力実施
- ・臨時休園の時に保育者の自己研修あるいは休暇の取得を奨励し保育士の資質向上を図る
- ・園内研修を活用し保育士の自己研修内容の共有を図り園文化の創造へと繋ぐ
- ・実践論文や事例研究の投稿に挑戦し、社会に園の保育を公開できる機会を創る

【保育内容】

京都芸術大学の教育目標同様、想像力と創造力、人間力の育成を目指す保育事業と位置付け、「瓜生山に抱かれ、共に暮らし、共に育ちあう」を保育理念に、「自分の気持ちを表現する力、相手の気持ちに気づき思いやる力、自ら考え柔軟に創意工夫する気持ちを育む」ことを保育方針とする。

1.養護と教育を一体化した保育

- ・1歳児2歳児においては、生命の保持及び情緒の安定を図る養護的なケアを十分に保障できるように、一人一人の子どもの発達特性を十分理解して保育に取り組む。保育士間で連携を取り、子どもとの安定した応答的なかわりを通して、人への愛着や信頼関係の構築を図り、子どもを多面的に見守り子ども理解を深める。
- ・3歳児4歳児5歳児においては、年齢別及び異年齢混合保育を取り入れ、年上の子どもに対するの憧れや年下の子どもへの愛おしさなどの情緒的つながりや見て真似る(学ぶ)姿を通して、互いに刺激を受け合い育ちあえる保育形態と保育内容を計画的に取り入れる。その為に、保育士は、担任する学年のみならず、それぞれの学年の保育士と密に連絡を取り合い、ともに保育計画を打ち合わせて保育を実施し、多面的な幼児理解を深めて、保育の質の向上に努めるよう図っている。
- ・4歳児に支援を要する児童が在籍。保護者との協議のうえ、3歳児クラスに編成。次年度の就学を視野に入れて、3,4歳児保育室を双方向から見通せる環境に設置、活動に応じてはクラス横断的にかかわれる配慮をする。集団行動の活動が増す中では、個別指導の必要性もあり通級施設と連携や保護者の協力体制も取りつつ適切な保育を実践。また、異文化の子どもと出会い共に育ちあう丁寧な保育を実践する。
- ・「こども芸術大学」の保育文化を保育園の子どもや保育士に伝承されるように、「自然と芸術を核にした年間保育計画」を提示し、5歳児の子どもと保育士が受け止め「田んぼづくり」「七夕」等々学びの成果がみられる。保護者参加の行事は、保護者に代わって大学職員や舞台芸術学科の学生の協力のもと新たに保育文化が創造されている。
- *新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策の中で、緊急事態宣言の発出に伴う勤務体制や保育環境の変化、行事の見直し、消毒の徹底、新しい生活様式を取り入れた食事や昼寝の環境を丁寧に協議を重ねて対処する必要性が増した。幼児クラスの子どもには、マスク着用の協力を得るようになった。

2.食育計画 -業者委託による完全給食-

- ・栄養士(調理士)と保育士の緊密な連携システムを確立。月の献立を作成する際には、食育計画と献立計画とを摺合せ、子どもにとって食べる楽しさが味わえるように月一度の給食会議を実施する。
 - ・家庭の食事とのバランスを取るように、月の献立便りを作成し配布する。
 - ・献立のサンプルは、保護者に目に触れる給食室前に、幼児のおかずのサンプルを18:25まで展示する。
 - ・アレルギー対応は、医師による診断書を基に、前月末に保護者が除去食材を翌月献立表にチェックをし、その献立表を担任、栄養士、園長(主任)の三者と綿密に読み合わせ完全除去を徹底する。調理師のとり分け時、食事の受け取り時、保育士の配膳時、アレルギー児用の食器やトレイの使用、個別対応プレート使用、別のテーブル使用の食事など、間違いが起こらないように、細心の注意を図り、安全性のチェック時は、声に出して確認する。
 - ・保護者参加の行事の折に、一口試食会を乳児1回、幼児1回実施し、そのうち一回にアンケートを実施する。
- その結果、保護者からは、本園の食育の考えに信頼を寄せ共感する評価を得る。食材の産地を示してほしい要望があり国産で地場の食材を調達していると回答(入園説明会で説明の通り)する。

3.安全・衛生管理

- ・日常的な安全と衛生管理に関しては、保育士のシフト時間に伴い、室内換気、消毒液準備、保育室清掃及び消毒、乳幼児トイレ清掃、ゴミの処理等の仕事がマニュアル化して実施する。
- ・コロナ禍での感染症拡大防止のために、保育室内入室保護者は1名と限定する。送り迎えの時に、保護者も検温をして入室。その検温表は、担任が捺印して確認を徹底する。

【子育て講座(創作の時間) 幼児クラスの親子】

実施日	内容	担当者
6月23日(火)	「土と遊ぶー土を手のひらで丸めて 色つけて 磨いてー」	神内康年(客員教授)
11月17日(火)	「こつぶなのにつくる、つくりかえ、つくるー」	近江綾乃(こども芸術学科教授)
1月12日(火)	「パクパク人形劇」	平井愛子(舞台芸術学科教授)

【幼児園外保育】

実施日	内容	実施日	内容
6月17日(水)	瓜生山	11月18日(水)	瓜生山
7月15日(水)	瓜生山	12月16日(水)	瓜生山山頂
9月16日(水)	瓜生山中腹	1月20日(水)	学外周辺散策
10月21日(水)	瓜生山	3月17日(水)	瓜生山山頂

【保育行事】

実施日	内容	実施日	内容
年12回	身体測定	8月31日(月)	プール終了
毎月1回	誕生会	10月17日(土)	親子運動の日 場所:講堂
毎月1回	避難訓練・消火訓練	11月2日(月)	1歳児保護者保育参加と一口試食会
年3回(9・12・3月)	内科健診 ※乳児 年3回、幼児は年2回	11月4日(水)	2歳児保護者保育参加と一口試食会
年1回(9月)	耳鼻科検診(幼児対象)	11月5日(木)	3歳児保護者保育参加と一口試食会
年1回(6月)	尿検査(幼児対象)	11月6日(金)	4,5歳児保護者保育参加と一口試食会
年1回(10月)	歯科検診(2・3・4・5歳児対象)	12月1日(火)～4日(金)	こども造形展
		12月18日(金)	クリスマス会
4月1日(水)	入園式	1月8日(金)	鏡開き
4月2日(火)～8日(水)	園生活に慣れる期間	2月3日(水)	節分の日 ※協力:舞台芸術学科学生
4月9日(木)～	通常保育開始	2月13日(土)	こども発表の日
～6月14日(日)	家庭保育協力期間	3月1日(月)	2021年度新入園児対象 入園説明会
6月12日(金)	プール時想定救命救急訓練	3月10日(水)	幼児・花育
7月1日(水)	プール開き	3月19日(金)	お別れ会
7月16日(木)・17日(金)	救命救急訓練(AED、心肺蘇生)	3月27日(土)	卒園式
7月29日(水)	幼児・花育	3月29日(月)	通常保育終了
8月25日(火)	5歳児プール参観および保護者懇談会	3月30日(火)・31日(水)	次年度準備

【クラス懇談会、個人懇談会】

実施日	内容
7月27日(月)～31日(金)	個人懇談会
2月22日(月)	クラス懇談会 1歳児
2月24日(水)	クラス懇談会 2歳児
2月25日(木)	クラス懇談会 3歳児
2月26日(金)	クラス懇談会 4歳児、5歳児
3月15日(月)～19日(金)	個人懇談会

【学生・学科、他部署との連携】

実施日	内容	実施日	内容
8月17日(月)～28日(金)	こども芸術学科 4年生保育実習生受入 1名	1月29日(金)	大江先生とプロダクトデザイン学科による食食用衛立プロジェクト
9月1日(水)	こども芸術学科学生 えがおプロジェクト ワークショップ	2月3日(水)	舞台芸術学科学生協力による節分
9月2日(水)～9日(水)	こども芸術学科 2年生インターンシップ生受入 2グループ10名	2月15日(月)～27日(土)	こども芸術学科 4年生保育実習生受入 2名